

永年にわたる自治の功績たたえる

本市議会の工藤剛議長、熊澤博議員が全国市議会議長会から表彰を受けました。工藤議長は市議会議員を15年以上、熊澤議員は市議会議員を10年以上務め、市政の振興に貢献した功績です（合併前の町村議会議員としての在職年数の2分の1を市議会議員在職年数に通算）。また、工藤議長には全国市議会議長会の評議員の功績に対し、感謝状も贈られました。



(写真左から) 工藤剛議長、熊澤博議員

次は 9月定例会 (予定)

期 日	内 容
8月23日(月)	議案上程 ほか
8月24日(火)~27日(金)	一般質問、議案審議、決算特別委員会
8月28日(土)・29日(日)	休 会
8月30日(月)~9月2日(木)	決算特別委員会
9月3日(金)~5日(日)	休 会
9月6日(月)	決算特別委員会
9月7日(火)	休 会
9月8日(水)	決算特別委員会
9月9日(木)	休 会
9月10日(金)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

令和3年6月定例会の視聴回数は271回です。
3月定例会の視聴回数は610回でした。
(令和3年7月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう?

新たに任命された市農業委員会の委員は○名です。

■応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。

※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。

■あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp

■しめ切り 令和3年9月1日(水)(当日消印有効)

■前回(No.63)の正解 17日

応募者 12人 正解者 11人

第1回臨時議会 (1日間)

会期 4月16日

○令和2年度八幡平市一般会計補正予算(第14号)の専決処分など6議案を可決

【議案第4号】 令和3年度八幡平市一般会計補正予算(第1号)

コロナワクチンの集団接種事業整備

新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費補助金などを活用し、市役所大ホールで実施するコロナワクチン集団接種事業の運営を行うものです。

Q 新型コロナウイルススワクチン接種業務委託の内容は。
A 市内の医療機関に協力いただきながら、毎週土曜日に迅速に多くの市民のみなさんに接種してもらうものがある。

Q 接種予定者にキャンセルが出た時の対応は。
A ワクチンを無駄にせず、有効活用するためにさまざまな検討をしている。

第2回臨時議会 (1日間)

会期 5月21日

○財産取得(除雪ブルドーザー14台)・副市長の選任同意など4議案を可決

【議案第1号】 財産の取得に関し議決を求めることについて

松尾地区を除雪しているブルドーザーが27年経過し老朽化しているため、3社の指名競争入札により新規にブルドーザー1台を購入するものです。契約金額は1996万5千円。納期は11月26日。

【議案第2号】 令和3年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に840万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を197億5722万2千円にするものです。主な歳出は次のとおりです。

▼予防接種事業 400万1千円
▼コミュニティセンター棟管理事業 320万円

【議案第3号】 副市長の選任について同意を求めることについて

副市長の佐々木孝弘が5月31日をもって、退職することから、後任に企画財政課長の田村泰彦を選任するものです。起立全員で選任に同意、決定しました。

委員会活動報告

産業建設常任委員会

■期日・場所 5月26日・八幡平市内
■内容 産業建設常任委員会所管の令和3年度主要事業等に係る市内視察調査

松尾八幡平・松川地熱発電所を視察



松尾八幡平地熱発電所の現地調査

松尾八幡平地熱発電所は平成31年1月より営業運転が開始され、約7,500キロワットの電力を発電している。復水器からの余った温水を八幡平市に供給することや電力の地産地消など地元貢献についても計画をしている。

松川地熱発電所は昭和41年に日本で初めて、世界で4番目の地熱発電所として営業運転を開始した。最大23,500キロワットの発電能力があり、発電に使われる蒸気のうち10トンをも市の温泉施設に供給しているほか、農業施設へも供給し利用されている。50年以上の間、電力の安定供給に貢献するとともに、平成28年には「日本機械遺産」認定されるなど、地域の観光資源としても親しまれてきた。